

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第496号 平成27年3月・4月



『逆さ富士』 松原 貞一

目

	頁
1) 今後の「感染症だより」について	古川朋靖 … 2
2) 感染症だより	西多摩保健所 … 2
3) 専門医に学ぶ	石倉菜子 … 5
4) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	野本正嗣 … 6
5) 西多摩医師会新年賀詞交歓会	宮城真理 … 10
6) 第30回西多摩学校保健 連絡協議会報告	朱膳寺洋文 … 11
7) 第1回青梅市立総合病院地域 医療連携懇話会について	古川朋靖 … 12

次

	頁
8) 学術講演会抄録 慢性C型肝炎における最新の話題	野口 修 … 12
9) 広報だより 青梅マラソン見物記	鹿児島武志 … 14
10) 連載企画 除雪機 購入	菊池 孝 … 15
11) 学術講演会予定	学術部 … 16
12) 理事会報告	広報部 … 17
13) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 21
14) あとがき	松本 学 … 23
15) 表紙のことば	松原貞一 … 24
16) お知らせ	事務局 … 24

今後の「感染症だより」について



(西多摩保健所保健対策課感染症対策係長
保健師：高橋祥子（左）、西多摩保健所保
健対策課長医師：畠山明美（右）、「感染症
だより」の執筆陣です。)

西多摩医師会会報が隔月刊になります、数年がたちます。これまで「感染症だより」は、月刊発行であった頃と同じ形態で掲載して参りました。しかしながら、隔月刊となり、会報誌の速報性は低下したものと考えております。そのため、速報性の必要なデータに関しては、インターネットの西多摩医師会のウェブに随時掲載し、会報には臨床により即した、臨床により役立つような内容に変更していく予定であります。質疑応答のコーナーなども作っていく事となりました。会員の皆様から、様々なご意見・質問などを頂きたいと思います。些細な事でありますても、西多摩医師会事務局まで御願い致します。

（広報部　吉川朋靖）

感染症だより

〈全数報告〉

平成 26 年第 51 週（12.15～12.21）から平成 27 年第 2 週（1.5～1.11）の間に診断された感染症について、管内医療機関より以下の報告がありました。

（二類感染症） 結核 3 件（肺結核 2 件、無症状病原体保有者 1 件。年齢は 30 代 1 件、40 代 1 件、90 代 1 件。性別は 男性 1 件、女性 2 件。）

（四類感染症） E 型肝炎 1 件（60 代女性）、レジオネラ症 2 件（50 代男性、70 代女性）

（五類感染症） 急性脳症 1 件（60 代女性）、侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（80 代女性）、梅毒 1 件（50 代男性）

〈管内の定点からの報告〉

	51 週	52 週	1 週	2 週
	12.15～12.21	12.22～12.28	12.29～1.4	1.5～1.11
RS ウィルス感染症	21	10	1	7
インフルエンザ	326	475	187	463
咽頭結膜熱	3		3	1
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	11	1	2
感染性胃腸炎	46	50	5	78
水痘	12			3
手足口病				2
伝染性紅斑				
突発性発しん	1	1		
百日咳				
ヘルパンギーナ				
流行性耳下腺炎	5	1		
不明発疹症				
MCLS				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎			6	
合　　計	428	548	203	556

基幹定点報告対象疾病

インフルエンザ入院 2 件 (10 ~ 14 歳男性、0 ~ 4 歳女性)

〈コメント〉

①昨夏のデング熱国内感染事例を受けて東京都蚊媒介感染症対策会議の報告書が昨年 12 月 24 日に発表されました。

〈昨夏のデング熱国内感染事例の検証〉

デング熱国内感染の患者届出数(8 月 27 日～10 月 31 日)は全国 160 人(うち都内 108 人)で、80.6% が代々木公園とその周辺を推定感染地とするものでした。初発患者が報告された 8 月 27 日以前に感染していた患者が後日多数報告されていることなどから、7 月下旬には公園内に感染蚊が存在し、8 月中旬から下旬には公園内に感染蚊が多数存在していたと推測されました。代々木公園で多数の患者が出た要因としては、海外渡航歴・滞在歴のある利用者など海外からウイルスを持ち込まれる機会が多いこと、蚊の数と公園利用者数が多く感染蚊の発生と感染拡大のリスクが高いこと、定期的利用者・長時間利用者等からさらに感染蚊が増える素地があったことなどが考えられました。

〈今後の蚊媒介感染症対策〉

課題として、海外渡航歴のない患者のデング熱の早期診断のための医療・検査体制、患者の調査など保健所の対応、蚊の発生抑制などの対策、正確な情報提供などがあげられ、患者発生の段階ごとに対策を提示しています。

①「国内感染患者未発生時」には平時の備えとして住民・公園等の施設管理者による蚊の発生抑制の取組や早期診断体制の整備など、②「都内での国内感染患者発生時」には迅速検査による早期診断や遺伝子検査、保健所による患者調査や蚊対策の検討、施設管理者や区市町村による蚊の駆除、初発例報道発表による注意喚起、③「複数の発生地で伝播が継続し多数の患者が発生したアウトブレイク時」にはこれらに加え、専門医療機関での重症者の治療、流行地域や患者数等の情報提供などが示されています。また、国への要望事項として検査キットの承認や保険適応などをあげています。なお、国による「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」が 4 月中に告示、適用される見通しです。

文責：東京都西多摩保健所保健対策課

=====

〈全数報告〉

平成 27 年第 3 週 (1.12-1.18) から第 6 週 (2.2-2.8) の間に診断された感染症について、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 3 件 (肺結核および結核性胸膜炎 1 件、結核性胸膜炎 1 件、無症状病原体保有者 1 件)。

年齢は 40 代 1 件、50 代 1 件、70 代 1 件。 性別は 男性 3 件。)

(五類感染症) 侵襲性肺炎球菌感染症 2 件 (60 代男性、80 代男性)、梅毒 1 件 (無症状病原体保有者、40 代男性)

〈管内の定点からの報告〉

	3週	4週	5週	6週
	1.12～1.18	1.19～1.25	1.26～2.1	2.2～2.8
RSウイルス感染症		2	1	3
インフルエンザ	302	314	234	139
咽頭結膜熱	2			2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	10	14	26
感染性胃腸炎	44	36	49	42
水痘	1		1	3
手足口病				
伝染性紅斑	1			1
突発性発しん	1	1	4	3
百日咳		1		
ヘルパンギーナ	1			
流行性耳下腺炎	3	4	11	1
不明発疹症				
MCLS				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
合 計	359	368	314	220

基幹定点報告対象疾病

マイコプラズマ肺炎 1件 (10～14歳女性)

〈コメント〉

① インフルエンザが例年より早く流行しはじめ、ピークも早く、減少し続けています。

例年のインフルエンザ流行のピークは1月末から2月上旬が多いですが、今シーズンはそれより早くなっています。

全国では昨シーズンに比べ3週間早く昨年48週に流行期入りとなりましたが、4週をピークに減少に転じています。

東京都では、さらに早く、昨年47週に定点あたり報告数1.92で過去5シーズンにおいて最も早い流行開始となり、50週には10.15で注意報レベル、52週に32.96と急速に増加し警報基準を超えるました（流行警報基準：定点あたり30人を超えた保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合）。52週での警報は、新型インフルエンザが流行した平成21年を除き、平成11年に感染症法に基づく調査が開始されて以来、最も早い流行です。しかし年が明けてからは報告数は減少傾向で、年内にピークとなる特異な流行状況となりました。

西多摩保健所管内でも、52週に35.64と警報レベルになりましたが、同様に52週をピークとして減少し、6週には9.93となり多摩地区では一番に警報解除レベルとなっています。

なお、東京都の定点医療機関から7週までに搬入された検体では、インフルエンザウイルス陽性であった187検体のうち177検体（95%）がAH3型（A香港型）で、10検体（5%）がB型でした。

文責：東京都西多摩保健所保健対策課

専門医に学ぶ 第111回

青梅市立総合病院 精神科 石倉 菜子

【症例】64歳男性

【主訴】イライラ、精神不安定

【既往歴】高血圧、狭心症、脂質異常症、肝機能障害、腰痛

【家族歴】なし

【病前性格】おとなしい、負けず嫌い、粘り強い、几帳面、責任感が強い、心配性

【生活史】同胞2名末子、中卒後大工見習いを5-6年し、大工となった。19歳で結婚し挙児2名、50代で土木業に転向するが腰痛のため退職した。

【現病歴】55歳頃からいびきがひどく、自分のいびきで目がさめたり、朝起きると頭が痛く日中眠気が残ったりするようになった。61歳頃から怒りっぽくなり、物音に対する過敏さも始まり、自分で性格が変わったような気がした。足腰や首が痛み、霧視もあり、体中が気になるようになった。何をしてもつまらなく、今までしなかった舌打ちが増えた。妻に対していらついて暴言を浴びせ、それで自分を責めたりするようになった。気分が落ち込み何もする気がない、疲れやすくて日中ぼうっとする、夜中に何度も目が覚める、などあり、自ら受診。今までに気分がよく何でもできそうな気がして夜なべして動いたり、浪費したりといった躁状態はない。

【初診時所見】白髪の男性で、表情は自然、話の流れに応じて笑顔もみられ、会話はスムーズだった。

(問題) 初診時にすべきことは何でしょうか

1. うつ病なので抗うつ薬を出す
2. 身体疾患も考慮し血液検査をする
3. 睡眠時無呼吸を疑い検査する

解答と解説

(解答) 2と3

(解説) 本例は病前性格が几帳面で粘り強く責任感が強い、いわゆる執着気質でうつ病になりやすいタイプと思われます。ところがいろいろが強く妻に暴言を浴びせたりし、精神運動制止が強く「何もできないのは自分が悪いんです」と自身を責める典型的なうつ病の印象ではありません。また、いろいろが強いうつ状態の患者に抗うつ薬を投与すると、いろいろ、焦燥が強まることがあるので、安易に抗うつ薬を始めないほうがよいと考えます。

血液検査の結果、TSH 91.96、FT3 1.0、FT4 0.1以下と甲状腺機能低下があり、内分泌に診察依頼し橋本病と判明しました。

甲状腺機能異常でみられる精神症状では、機能低下で認知症のようになる仮性認知症、易疲労性、意欲低下などのうつ状態、機能亢進では過活動、易怒性などの躁状態がよく知られています。しかし機能低下でも今回のような易怒性やいろいろが出ることもあるので、注意が必要です。この症例では、他医院でクレーマーのような態度をとり問題となつたこともありましたが、FT4正常化に伴い症状は軽快しています。経過や症状から明らかに甲状腺機能を疑う例もあれば、本例のように検査をしてわかることもあります、甲状腺機能検査は案外重要なだと再認識しました。

いびきや日中の眠気、倦怠感などあり、睡眠時無呼吸を疑いましたが、こちらはありませんでした。睡眠時無呼吸でうつ様症状が出ることも、念頭に置いておく必要があります。

西多摩地域糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

西多摩地域糖尿病医療連携検討会 座長 野本 正嗣



今月のメッセージは検討会委員である、高村内科クリニック 管理栄養士の土屋倫子先生にお願い致しました。

～西多摩医師会館の糖尿病教室での個別相談について～

西多摩地域糖尿病医療連携検討会の事業の一つとして、平成24年6月より開始されました西多摩医師会館での糖尿病教室は、平成27年4月で4年目になります。今回は、25年度より行っています個別相談についてご報告し、先生方のますますのご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

～個別相談を実施する目的～

教室の集団の講義では共通に理解していただきたい内容等と一緒に学んでいただきます。一方、個別相談は栄養士が患者さんと個別に面談し、その方特有の問題点にアプローチしたり、教室での内容を更に細分化し、その方の状況に合わせて指導させていただきます。特に、その方が自身の行動を変えられるよう手助けをし、集団の講義が一方的な知識伝達に陥り易い点をカバーいたします。

今回は、個別相談を受けデータが確実に改善されつつある症例を紹介させていただきます。

【患者さんのプロフィール】

女性、71歳、身長153.3cm、体重52.8kg、BMI22.5、腹囲84.5cm

特定健診の結果、高血糖（随時419mg/dl）とHbA1c10.7%が明らかになり、患者さんの希望、主治医の勧めにより医師会館での個別相談が依頼された。

【過去の概要】

- ・平成20年、21年の特定健診では糖尿病予備軍の状況であったが、その後は健診を受けず放置、平成26年（本年度）の健診で状況の悪化が認められた（データの経過参照）
- ・平成25年頃より体重減少を自覚するも、ダイエットの成果と自己判断し、糖尿病の病識は全くなかった
- ・平成26年の夏場は、特に清涼飲料水を多飲していた

【データの変化】

治療開始以前

平成20年11月 HbA1c6.3%、体重58.6kg、BMI24.9、腹囲93.0cm(空腹時血糖123mg/dl)

平成21年10月 HbA1c6.0%、体重57.0kg、BMI24.3、腹囲89.0cm(空腹時血糖105mg/dl)

平成26年10月 HbA1c10.7%、体重52.8kg、BMI22.5、腹囲84.5cm（随時血糖419mg/dl）

平成 26 年のその他のデータ：

LDL-C 113mg/dl、TG 277、AST16、ALT20、γ GTP105 尿タンパク (-)

尿糖 (3+) 尿ケトン体 (-)

治療開始以降

平成 26 年 11 月 7 日 HbA1c 9.1% 体重 52.4 kg 血糖値（食後 2 時間）173ml/dl

口渴 (-) 身体の火照りが少し改善

12 月 8 日 HbA1c 8.0% 体重 53.0 kg 血糖値（食後 2 時間 10 分）160ml/dl

平成 27 年 1 月 16 日 HbA1c 7.3% 体重 54.2 kg 血糖値（食後 1 時間）150ml/dl

(最新のデータでは時節柄（年末年始）体重の戻りがあるものの HbA1c は順調に改善)

【治療開始以降の療養状況など】

平成 26 年 10 月 8 日 健診結果より、服薬（テネリア（20 mg）1T/日）を開始

10 月 15 日 眼科を受診 結果：糖尿病網膜症 (-)、白内障 (+)

10 月 23 日 医師会館で個別相談（1 回目）を受け、食事療法開始

11 月 27 日 糖尿病教室に参加、個別相談（2 回目）を受ける

- ・歯科より中程度の歯周炎を指摘され、治療開始を決定する（受診日は不明）

【個別相談での指導内容】

1回目

- ・食事は野菜から食べ始め、15 分以上かける
- ・果物の 1 回量を適量にする（1 回の量を示したパンフレットで説明し、渡す）
- ・調味料の使い方（みりん・砂糖を減らす）

2回目

- ・1 回目の指示内容が意識して実行されていたので、継続を奨励する
- ・ご飯は毎回ほぼ同じ位（130 g 程度）は食べる
- ・料理に油を小さじ 1 程度（毎食）は使う

個別相談や教室（特に今回の症例に関連する事柄）のご紹介

○食事や食生活のチェックリストの利用

個別相談では、食生活や食事内容を短時間に把握できるよう、相談前に簡単なチェックリスト（20 項目程度）による問診を行っています。本症例も、「早食いの方だ」「食べ過ぎやすい」「果物が好きでよく食べる」「濃い味である」などが認められたことから、第 1 回目の指導内容を決定いたしました。本症例と同様に、糖尿病教室に参加されていないとも、主治医の先生方のご依頼で個別相談（複数回可）を受けていただけます。

○教室での試食会

教室では概ね年 1 回、弁当の試食を実施しています。ちょうど試食の時期だったので、症

例の方にも、教室に参加し食事を体験していただきました。実際に食べることで、食事量や味について理解を促すことができます。ご本人も、自分の味付けが濃いことを改めて確認できたようです。

味付けは口頭ではなかなか伝え難い事柄です。医師会館の糖尿病教室での体験をお勧め下さい。

～先生方へのお願い～

本教室では、平成27年度より教室の参加対象を糖尿病の患者さん（ご家族を含む）だけでなく、いわゆる糖尿病予備群と言われる方々まで広げることにいたしました。その理由は、本症例のように、予備群の状態が放置され悪化される例が少なくなっています。先生方にも西多摩地域の現状をご理解いただき、対象の方々に教室を紹介いただけますよう改めてお願い申し上げます。（平成27年度の教室については別紙をご参照ください。）

○個別相談は完全予約制で30分/人です。予め医師会事務局までご連絡ください。

○本教室や個別相談につきましてご不明の点がございましたら、医師会事務局へお問い合わせください。お問い合わせ先：西多摩医師会 電話：0428-23-2171

2015年度 西多摩医師会館 糖尿病教室のご案内

- ◆ 日 時 毎月第4木曜日 午後1時半～3時（個別相談の時間はお問い合わせください）
2015年の予定：4/23 5/28 6/25 7/23 9/24 10/22 11/26
2016年の予定：1/28 2/25 3/24（2015年8/27 12/24はありません）
- ◆ 場 所 西多摩医師会館 青梅市東青梅1丁目167番地12（東青梅駅南口より徒歩3分）
- ◆ 内 容 医療スタッフによる集団教室と個別栄養相談（30分/人 完全予約制）
※ 年間スケジュールは決まっていますが、いつからでも参加できます。
- ◆ 対 象 西多摩医師会会員医療機関に通院中の糖尿病患者さんとご家族および特定健診等で糖尿病予備軍・糖尿病の疑いと診断された方
- ◆ 費 用 無料
- ◆ 申込み 西多摩医師会まで TEL. 0428-23-2171

2015年度 西多摩医師会館糖尿病教室予定表

月	日	講義 1 13:30~14:10	講義 2 14:10~14:50	個別相談 13:30~16:00	備　考
4月	23日	糖尿病とは その1(医)	糖尿病の食事入門 (栄)		毎回、希望者には血糖値を測定します (13時~13時25分 先着20名)
5月	28日	糖尿病の薬について(薬)	糖質のとり方について考えましょう (栄)		
6月	25日	糖尿病による腎臓の異常にについて(医)	タンパク質のとり方について考えましょう (栄)		
7月	23日	糖尿病の運動療法について (ト)	脂質のとり方について考えましょう (栄)		
8月		お 休 み			
9月	24日	糖尿病とは その2(医)	站立の立て方上手になります (栄)		
10月	22日	糖尿病と歯や歯周病について (歯科医)	外食・行事食について考えましょう (栄)		
11月	26日	糖尿病食を食べてみましょう(試食会)(栄)	(*) 糖尿病と足ケア(神経障害)について(看)		(*) 試食会を行ったため教室の開始時刻は13時になります
12月		お 休 み			
1月	28日	糖尿病による心臓の異常にについて(医)	上手に体重管理をしましょう (栄)		
2月	25日	糖尿病による眼の異常にについて(眼科医)	上手に減塩しましょう (栄)		
3月	24日	まとめ (Q&Aを含めて)(医)	まとめ (栄)	(*)	(*) 年度のまとめの教室のため 個別相談は15時以降のみとなります

(医):医師、(ト):トレーナー、(薬):薬剤師、(看):看護師 (栄):栄養士
※教室に関するご不明点は西多摩医師会までお問い合わせ下さい

1)講師の都合によりやむをえず、講義の内容の変更、順番の変更などが生じる場合があります。ご了承ください。

2)個別相談は予約制です。西多摩医師会までお申込み下さい。(0428-23-2171)、3)血糖測定をご希望の方は教室開始前に行って頂けます(13:00~13:25 先着20名)

平成27年 西多摩医師会新年賀詞交歓会



西多摩医師会新年賀詞交歓会が平成27年1月17日（土）に青梅福祉センター「ふよう」にて開催されました。御来賓22名、医師会員40名の計62名の方々に御参加いただき、林田武都議会議員からは祝電をいただきました。当日は阪神淡路大震災からちょうど20年目の日と言う事もあり、初めの玉木一弘会長の挨拶では、地域包括医療ケアの重要性、特に災害時における西多摩医療圏内での整備の必要性が強調されました。続いて来賓挨拶を衆議院議員井上信治先生、市町村長代表として青梅市長竹内俊夫様よりいただきました。ここで今回は西多摩地区災害時医療コーディネータを努めてられている青梅市立総合病院の肥留川賢一先生より災害時における西多摩医療圏での整備の方向性について説明がありました。この後西多摩保健所長木村博子先生の音頭で乾杯となりました。しばし歓談のあと国立音楽大学演奏科学生の笙栗良太（バストロンボーン）加藤友彦（ピアノ）石川紅奈（ベース）村上和駿（ドラム）によ



るジャズアンサンブルの演奏が始まり会場はより盛り上がってきました。次に恒例の抽選会が行われ、iPad mini・ノンフライヤー・竹鶴17年・シャンパンなどの景品を、玉木会長が引き当てた番号により次々と手渡されました。（今回は偶然にも消防署長3名があたりました。）宴たけなわとなり、手縫めの音頭を西多摩医師会監事で前会長の横田卓史先生にお願いし、締めていただきました。そろそろお開きの時間となり、鹿児島武志副会長より閉会の挨拶があり無事終了となりました。

毎年新年賀詞交歓会は、1月の第3土曜日の18:00から青梅福祉センター（スイートプラム）で開催されます。スイートプラムは結婚式場も兼ねていますので料理もおいしく会場もきれいな所です。また東青梅駅から徒歩5分位の位置にあり新西多摩医師会館の近くです。新年賀詞交歓会は普段なかなか顔を合わす機会の少ない業種の方も来賓で参加されます。このような機会に是非会員の皆様に大勢御参加いただき、他業種の方々とも意見交換を楽しんでいただきたいと思います。（文責 宮城 真理）



第30回 西多摩学校保健連絡協議会報告



第30回西多摩学校保健連絡協議会が、平成27年1月22日(木)午後1時30分から福生市さくら会館3階ホールで行われました。当番世話役として西多摩医師会学校医担当理事の朱膳寺が担当しました。

講演会は日本大学医学部整形外科前教授斎藤明義先生にスポーツ障害について講演して頂きました。スポーツ障害は体育の時間・遊び時間・部活等で生じるが急性期に生じた場合は養護教諭等の判断で対応できるものは素早く適切な処置をし、困難な場合は専門医に迅速に連絡できる体制を作つておく事が重要である。

外傷で多い骨折はギプス外固定等の保存的治療で治す事が多いが手術が必要となる場合もある。子供の骨は大人に比べて軟らかく、若木のようにグニャと曲がる骨折を生じる。次に脱臼は肩関節脱臼が一番多く、徒手整復術後の外固定が3週間くらい必要となり、習慣性脱臼に移行する事が多い。次に筋腱損傷ではアキレス腱断裂が多く爪先立ちが出来ず筋損傷ではかなりの血腫が見られ治癒に時間がかかる。靭帯損傷はスポーツ障害の中で最も多く、足・手指・膝関節の靭帯損傷が大半を占め、まずは外固定が必要。手術となる事もある。膝関節の十字靭帯の断裂はスポーツを続ける事が無理の場合があり、MRIによる診断が重要で継続には再建手術が必要。

外傷時の応急処置では出血を伴うときは清潔なガーゼやハンカチで圧迫した応急処置後は早期に医療機関に受診させる。

出血以外の応急処置は R I C E

R : Rest (安静)

I : Ice (冷却)

C : Compression (圧迫)

E : Elevation (挙上)

の応急処置があります。

等々講演内容の一部を列挙しましたが予定時刻の3時を過ぎるまで熱心にわかりやすく説明して頂きました。又現在もスポーツ医学の第一人者として活躍されオリンピック強化委員・読売巨人軍主治医等の経験を持ち有名なスポーツ選手の症例も多数示され大変興味深く有意義な講演会でした。

(文責 学校医担当理事 朱膳寺 洋文)



第1回青梅市立総合病院地域医療連携懇話会について



青梅市立総合病院の発案にて、この度「第1回青梅市立総合病院地域医療連携懇話会」が、平成27年2月14日（土）に開催されました。この会は、病院全体として西多摩医師会の先生方との病診連携をより一層充実させる事を目的に開催されました。

研究発表会では、（1）外科の千代田武大先生から後腹膜部の平滑筋肉腫という大変貴重な症例が供覧され、さらに鏡視下手術の現況について解説をいただきました。（2）耳鼻咽喉科・頭頸部外科の有泉陽介先生から頭頸部癌の基本概念・リスクファクター、とくに飲酒やウイルスとの関係性について興味深いお話をいただきました。

その後、場所を新棟6階レストラン「エスポアール」に移動し、懇親会が催されました。会では、参加されている総合病院の先生方の紹介や、普段はお声しか聞かない医療連携室の面々、また癌拠点病院としての緩和ケアセンターの職員の方々も紹介されておりました。特に、緩和ケアに関しましては「とにかく必要があれば、ご本人でもご家族でも、まずは病院に電話頂いて相談日を予約して欲しい。気軽に利用をして欲しい。」旨のアナウンスをいただきました。（広報部 古川朋靖）



学術講演会抄録

慢性C型肝炎における最新の話題

（平成26年10月30日：西多摩医師会館）

青梅市立総合病院 診療局長・消化器内科 野口 修

1992年に始まったC型肝炎に対するインターフェロン治療は、当初従来型インターフェロンによる単独治療が10-30%程度の著効率しかもたらさま、約10年間進歩がなかった。この間、インターフェロン治療の効果を規定するウイルス因子についての研究が重ねられ、NS5a領域変異（ISDR）が重要であることが示された。

2001年にリバビリンおよびペグインターフェロン併用療法が導入され、著効率は50%前後まで上昇したが、治療しきれない難治例は引き続きウルソや強力ミノファーゲンに頼らざるを得ない状況であった。

2012年、NS3領域プロテアーゼ阻害薬（NS3/PI）が開発され、ペグインターフェロン・リバビリンとの3剤併用療法が実用化されると、著効率は難治性の1b型高ウイルス量例でも一気に90%まで上昇した。第一世代のプロテアーゼ阻害薬であるテラプレビルは食思不振や皮膚症状などの副作用があるものの、症例を慎重に選ぶことにより当院でも約20名の方々に治療さ

せていただき、ほとんど治癒に至りました。2013年末に次世代 NS3/PI であるシメプレビルが登場したが、こちらはほぼ同じ治療効果に加えて、治験データでは副作用が極めて少ないことが示され、さらに多くの治療対象者、特に 75 歳程度までの高齢者も治療対象に考えることができるようになった。死亡症例などが新聞紙上で物議をかもしたためブルーレターが発行されたが、幸い当院ではそのような重篤な事態は発生していない。今後、インターフェロンベースの治療は当分シメプレビルによる 3 剤併用療法が中心となる見込みである。

2014 年になりついにインターフェロンを用いない内服治療薬（直接ウィルス作用薬：direct anti-viral agents DAAs）が登場した。先の NS3/PI に加え NS5a 複合体阻害薬、NS5b ポリメラーゼ阻害薬など核酸分子生物学の生み出した成果である。開発された順番からアスナプレビル (NS3/PI) + ダクラタスピル (NS5a) が最初に上梓された。治療効果は約 85% で以前のインターフェロンが困難だった血小板低下例、高齢者、副作用に問題がある症例などに対し大きな福音となった。治験データでは約 10% 程度の症例に治療中止となりえる肝機能障害 (GPT 上昇) がみられたが、それ以外の症例はほぼ副作用なく治療できている。来年春には genotype 2 型に対する NS5a+NS5b 製剤の組み合わせが保険適応となり、夏には同じ組み合わせが genotype 1 型へ適応拡大になる見込みであるし、さらに様々な組み合わせの治療薬が登場する予定である。治療適応もインターフェロン前治療などとの関係が拡大される見通しであるようなので、今後は DAAs による治療がメインストリームになることは容易に予想される。当面は慢性肝炎症例・代償期肝硬変症例に限られるが、非代償性肝硬変症例の治験（国外）なども行われており、将来的にはあらゆる C 型肝炎症例が対象となろう。おそらく 1~2 年後には強力ミノファーゲン注の週 3 回通院という症例は激減することが予想され、患者負担は大きく改善するものと思われる。

DAAs の登場により C 型肝炎は完全に撲滅されると思われたが、まだ問題点は残されている。核酸治療薬の最大の問題点はウィルス変異による薬剤耐性出現であり、これをいかに上手に克服するかを考えないと、結果的に治療不能に陥る可能性が生まれてしまう。また、インターフェロン自体に発癌のイニシエーターを制御する働きがあることが示唆されているため、インターフェロンを用いない核酸治療により C 型肝炎ウィルスを駆除できても、治療後の HCC 発がん率がインターフェロン治療の時代と同じぐらい抑制できるかどうかも検証されていない。

C 型肝炎治療はこの数年で大きな転換点を迎えることは確実であるが、ここを上手に乗り切ること、まだうずもれている治療対象者をいかに見つけ出つか、治療後の肝癌検診のありかたなど、医師会の諸先生方との連携をこれからもお願い申し上げます。

インターフェロンベースと経口剤のみのHCV治療の それぞれの長所と短所

インターフェロン ベース

薬剤耐性ウイルスの頻度は比較的小
→再治療の可能性あり
治療後の発癌抑制効果に期待

インターフェロンそのものが導入の障壁

経口剤のみ

低い副作用と
高いウイルス学的効果
適応が広く、治療導入が容易

治療失敗例は難治性の薬剤耐性獲得の可能性
→再治療は困難？

広報だより



青梅マラソン見物記

青梅市 かごしま眼科 鹿児島 武志

昨年の史上まれにみる大雪で中止となった青梅マラソンは間違いなく町おこしの一大イベントだろうと思う。青梅に住居を構えて5年になるが、およそマラソンを含めた走る競技には縁のない存在であったが、今年は救護班の一員として大会に出場するはめになった。

すでにスタート時点では日向和田で10キロマラソンの折り返し地点の手前で直接見たわけではないが日本晴れのような快晴のもと、体操選手で華麗な演技を見てくれた田中理恵さんのスタート合図で30キロマラソンの幕が切って落とされた。町おこしと書いたがスタート前の喧騒はそう広くはない市の体育館が人だまりで余計に小さく見えた。選手はもちろん、競技役員、警備陣、救護班、市職員、物産展の出店などでごったがえしていた。まさかの時に備えて酸素ボンベ、AED、薬品箱などのグッズをタクシーに載せて向かった先は、日向和田のガススタンドで、最初の持ち場だった。地元の自治会の方の話を伺ったが長年このあたりで走者の走行を妨害しないように道路の中央のラインに立ち選手を誘導するのだと話していた。ラインマンの代わりを息子にさせたいが、まだ引き受けてはくれないらしい。10時少し前になると走者の集団が怒濤のように目前を通過していった。走者は朝方の通勤ラッシュとそう違わない距離で追いつくチャンスはないほどであった。

走者のしぐさを見る余裕もなく、30キロの折り返し点の手前、川井のあたりまで移動した。ここではゆるやかといえども登り坂の難所であるらしい、勾配角度はよく判らないが高低差が86メートルとある。トップの選手はさすが全く息切れの様子もなくさつそうと走り抜けてゆく。先頭集団だけあってピッチは速く、またストライドも広く驚くほど大きい。マラソン選手には余分な筋肉は不要なのだろうか、短距離選手と異なり大腿部はきやしゃな選手が多い。その割には上半身の筋肉ががっちりしているという印象を受けた。上半身の筋肉を鍛えて全身のバランスを配慮しているのかもしれない。

救護班といえども白長のコートを着て沿道に立っているだけなのだが、一番印象に残ったのは高低差のある30キロコースだというのに走者が様々な恰好をして参加している点であった。挙げてみればきりがないが、スパイダーマン、アンパンマン、くまもん、ちょんまげの侍、水戸黄門、金髪カツラのセーラー服の学生（もちろん男性？）また、地元の宣伝もかねた「フルーツ王国信州」のロゴがはいっている宣伝マン選手、理解に苦しむが、鉛筆そのままの紙製のカバーをしたまま走る「ペンシルマン」などなど創意と工夫をこらし演出する選手軍団は、きっと考えあってのことだろうが、地球の裏側で起きている惨劇とはかけ離れた平和の日本を象徴するマラソン大会の様子であった。また、どう見ても一回りは年配だと思われる選手も数多くマイペースながら堅実に走っている姿をみると高齢化の波のなか、健康である有り難さを身をもって実践しているようと思われ、日頃の運動不足を顧みて、寒かったせいもあるのだが、思わず襟を正した。仮装行列の選手は別にしても、早く走る選手の恰好は共通点があるようだ。顎はややひいて重心が後ろに行かないように、また腕は下半身とのバランスを保つために脇を少し開け、ヒジの角度は45度位が丁度よいらしく上半身は全くぶれていないように見えた。ストライド走法とピッチ走法という2通りの走法があるというが、身長も関係するのだろうか、大柄で歩幅が長くピッチが速い

とスピードでは勝るのだろう。一方、女子選手は小柄でありストライドは短いながら、ピッチが速く、男子を次々と抜いてゆくのをみると心肺機能が高く持久能力の高い選手が長距離走には向いているようだ。道沿いに立っている我々は拍手で応援するが、中にはありがとうと声をかえし走って行く選手も多く、一位入賞の選手も応援により一層の力を与えられたとの感想が翌日報道されていた。

幸い AED を使用することなく勤務は終わったが、この日の私の役目は最終ランナーの男性のふくらはぎの痙攣を手馴れないマッサージで和らげる事であった。応援で手を叩きすぎて腫れそうになってしまったが、ゴールで帰ってきた選手全員の手にハイタッチしていた高橋尚子選手の両手はもっと腫れていただろう。天候に恵まれ昨年の悪夢が払しょくされ大会であつたし、帰途の沿道で皆さんか捨て置かれたコップやゴミを大勢で拾い集めていたのも印象的であった。体育館にもどり、鉛筆マンやフルーツ王国選手団が無事にハイタッチするのを見届けて、来年にはエントリーしようかと思いが一瞬よぎったが、到底無理だとあきらめるのには大して時間がかからなかった。

連載企画

除雪機 購入

青梅市 きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

昨年2月の大雪の時、特に2回目の大雪の時に、人力による除雪の限界を感じました。丸1日雪かきをし、スコップを握りしめていたため、その後しばらく中指がバネ指になって苦しました。2回目の大雪の時に、個人で購入できそうな除雪機を探したのですが、除雪機は春から夏に生産し、その年の秋から冬に売り切ってしまうようで、2月の時点では既にどこにも在庫がなく、購入できませんでした。

そのため、今年の雪に備えて、昨年9月の在庫があるうちに除雪機を購入しました。個人用の除雪機は、ホンダ、ヤマハ、ヤンマーなどが作っているのですが、その中で手堅くシェアNo.1のホンダにしました。「ユキオス SB800」という商品です。(写真は自宅玄関前で撮ったユキオスです。)

除雪機のタイプとしては、大きく分けて、雪を押すブレードタイプと雪を飛ばすロータリータイプに分かれます。市販されている除雪機はロータリータイプが主流です。ブレードタイプは耕耘機のように押しながら除雪を行い、写真のように機械が小型ですみます。ロータリータイプは小型といわれるものでも、ブレードタイプより大型になること、また実際には雪を飛ばす場所が無いため、ブレードタイプを選択しました。ブレードタイプは、小型で使い回しが良いのですが、多量に降り積もった雪には不向きです。



雪の降り始めに使用して、積雪が多くなる前に手早く処理するか、積雪がとけ始めた時の処理には有効のようです。

今回購入したホンダのユキオスには音の静かな電動タイプもありましたが、バッテリーでは充電や使用時間の制限があるため、普通にガソリンエンジンタイプにしました。エンジン音を気にしていたのですが、思っていたよりは静かで、使っていて気にならない音でした。仕事効率は、カタログ値では1時間あたり約250m³（駐車場換算 約16台分）の除雪作業が可能です。燃費が大変良く、カタログ値では、ガソリン1L（満タン時）で約750m³の除雪作業が可能です。駐車場に換算すると約50台分のスペースに相当します。

今年2月の積雪時に早速使ってみた感想として、もっと早くこの機械を購入しておけば良かったと思いました。疲れ方が全く違います。今までの苦労は何だったのかと思いました。この機械を使えば、人力で雪かきを行うより圧倒的に効率が良いため、昨年のような大雪でも、早めに頻回の雪かきを行えば、うまく処理できたのではないかと考えます。

幸い今年はあまり出番が無くすみそうですが、心強い相棒ができた気分です。備えあれば憂いなし。おすすめの機種です。ちなみにメーカー希望小売価格（税込）215,784円（消費税8%抜き199,800円）。ネット（楽天ホンダウォーク）で購入しました。御参考までに。

◇学術講演会予定

27.2.20

開催日	開始～終了時間 開催時間	会 場	単位数	カリキュラムコード	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
3.11 (水)	19:30 ～ 21:00	西多摩 医師会館	1	51,52	学術講演会 酸関連疾患を再考する — Next Step — (仮) ～今求められるGERD治療とは～	東京医科大学病院 内視鏡センター 教授 河合 隆先生
3.12 (木)	19:20 ～ 21:30	公立 福生病院 多目的ホール	2	5,10,15 76	パネルディスカッション 2015 『実践 糖尿病の治療』 ～先生ならこの症例にどう対応しますか～ 【糖尿病について】 専門医の立場から 『管理指導』 『内服薬』 『インスリン治療に対する意識調査から』 【パネルディスカッション】 1. アンケート結果報告 2. パネルディスカッション	高村内科クリニック 院長 高村 宏先生 柳田医院 院長 柳田 和弘先生 青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 部長 関口 芳弘先生 石畠診療所 小林 康弘先生 パネリスト 高村 宏先生 柳田 和弘先生 関口 芳弘先生
3.25 (水)	19:30 ～ 21:00	青梅市立 総合病院 セミナー室	1.5	2,5,14	主治医研修会 介護保険制度や障害者総合支援法における ◎主治医の役割 ◎主治医意見書の記載方法 ◎申請や認定の仕組み ◎利用できるサービス ◎最新情報 等について	福生クリニック 院長 玉木一弘先生
3.28 (土)	14:00 ～ 17:00	ゆとろぎ	3	未定	精神疾患早期発見・早期対応推進研修 【内容】精神疾患の基礎知識、診断と治療、精神科医との連携、精神保健医療福祉に関する制度の概要、症例検討等	未定
4.23 (木)	19:40 ～ 21:10	ゆとろぎ	1.5	20,70,82	学術講演会 Sleep Symposium 【一般講演】 「当院における新規不眠症治療薬の使用経験(仮)」 【特別講演】 「睡眠から健康が見える～うつにおける睡眠管理の重要性(仮)」	(医社)飛白会 理事長 山下医院 院長 山下喜弘先生 (公財)精神・神経科学振興財団 睡眠健康推進機構 副機構長 大川匡子先生

● 理事会報告

★ Information

12月定例理事会

平成26年12月9日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・鹿児島・江本・奥村・小林・朱膳寺・土田・馬場・古川・松山・宮城・中野・横田)

【1】報告事項

(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告

- ・資料に沿って都医からの伝達事項等会議の内容について紹介報告された

(2) 各部報告

- ・総務部 12/1 現在の会員数について

12/3日に開催（互助会主催）された忘年・クリスマス会の状況等について

- ・公衆衛生部 11/26日に開催された「平成26年度新型インフルエンザ対策講習会」の内容等について

〈追加〉

- ・災害医療対策委員会（委員長）

11/27日で開催（青梅市立総合病院）された「平成26年度第2回西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議」について

(3) 地区会報告（各地区理事）

青梅市

福生市 12/12 忘年会開催予定

羽村市 12/5 忘年会開催

あきる野市

瑞穂町

日の出町

(4) その他報告

- 東京都医師会第13回産業保健委員会（11/27 蓼沼翼 委員）

- 東京都医師会第12回地域福祉委員会（11/28 進藤晃 委員）

上記委員会につき委員より提出された資料により内容等が確認された

【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

— 承認 —

入退会は該当なく、管理者変更の届1件が紹介された

(2) 平成26年度西多摩保健所難病保健医療福祉調整会議の開催について（依頼）

— 承認 —

標記会議への当会会員参加依頼については、進藤晃先生の了承が得られていることが公衆衛生担当理事より説明・報告され、進藤先生を推薦することが承認された

(3) 平成27年度学校医等各種報酬及び予防接種委託料について

— 承認 —

地域医療担当理事より標記事項について行政との交渉結果が資料に基づき報告され当会の主張等に合致していることを確認の上承認された

【3】協議事項

- (1) 平成 27 年度青梅市立小・中学校学校医の推薦について（依頼） — 可決承認 —
標記依頼事項については、資料に記載された前年度の学校医と同様の先生を推薦することが該当する先生方及び地区会で了承されていることが確認され、前年度同様の先生の推薦が可決承認された

【4】その他

特になし

1月定例理事会

平成27年1月13日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・鹿児島・江本・奥村・小林・朱膳寺・土田・馬場・古川・松山・宮城・中野・横田)

【1】報告事項

- (1) 都医地区医師会長連絡協議会報告
・資料に沿って都医からの伝達事項等 12 月 19 日の会議内容について紹介報告された
- (2) 各部報告
・総務部 3/8 の「西多摩地域糖尿病セミナー（西多摩地域糖尿病医療連携検討会）」について
・学校医部 1/22 の「西多摩地域学校保健連絡協議会」の開催予定を確認

(3) 地区会報告（各地区理事）

青梅市 1/9 新年会を開催
福生市 12/12 休日診療所と合同で忘年会を開催
羽村市
あきる野市
瑞穂町
日の出町

(4) その他報告

- 東京都医師会第 15 回救急委員会（12/15 小山英樹 委員）
 - 東京都医師会第 13 回地域福祉委員会（11/27 進藤晃 委員）
- 上記委員会につき委員より提出された資料により内容等が確認された

〈追加報告〉

12/19 日に西多摩保健所にて開催された「平成 26 年度西多摩健康危機管理対策協議会」（感染症地域医療体制ブロック協議会）の内容等について鹿児島副会長より説明・報告さ

れた

【2】報告承認事項

- (1) 入退会会員、会員異動について — 承認 —
資料により準会員 3 名の入会、準会員 1 名の退会が紹介され承認された
- (2) 平成 27 年度診療報酬請求書の提出日について — 承認 —
資料により紹介され承認された
- (3) 西多摩地域産業保健センター運営協議会委員選任の件 — 承認 —
玉木会長、担当理事、他病院医師にて構成する旨報告され承認された

【3】協議事項

- (1) 市民公開講座「あなたの腎臓大丈夫?」に関する当会後援名義の使用許可依頼について
— 可決承認 —
表記につき協議され承認された
- (2) 「賀詞交歓会」次第（案）について — 可決承認 —
表記につき協議され承認された

1月定例理事会

平成27年1月27日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・鹿児島・江本・奥村・小林・朱膳寺・土田・馬場・古川・松山・宮城・中野・横田)

【1】報告事項

- (1) 都医地区医師会長連絡協議会報告
・資料に沿って都医からの伝達事項等 1 月 16 日の会議内容について紹介報告された
- (2) 各部報告
・総務部 1/17 の「新年賀詞交歓会」の状況等及び収支について
- (3) 地区会報告（各地区理事）
青梅市
福生市 1/28 新年会を開催予定
羽村市
あきる野市 例会にて高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用に係る患者負担格差問題が取り上げられ、今後も協議検討を継続する
瑞穂町
日の出町
- (4) その他報告
○ 東京都医師会第 16 回救急委員会（1 月 19 日 小山英樹 委員）
○ 東京都医師会第 11 回産業保健委員会（1/22 蓼沼翼 委員）
上記委員会につき委員より提出された資料により内容等が確認された

- ・平成 27 年度の医師会関連委託事業の委託単価等について
 - ・主治医意見書記載の対価について
 - ・平成 27 年度介護報酬改定率について
- 資料として上記都医からの地区医師会長あて通知文書が示され、その内容等について会長より説明・報告された

【2】報告承認事項

- (1) 入退会会員、会員異動について — 承認 —

資料により準会員 2 名の入会申し込みが紹介され承認された

【3】協議事項

- (1) 平成 27 年度日の出町立小・中学校医の推薦について — 可決承認 —

標記依頼事項につき資料にある現在の学校医を推薦することが提案・承認された

- (2) 平成 27 年度日の出町立小・中学校耳鼻咽喉科及び眼科検診の承諾について

— 可決承認 —

標記検診をあきる野市の医師に依頼することに係る承諾依頼につき申し出通り承認された

- (3) 平成 27 年度奥多摩町小・中学校学校医の推薦について（依頼）

— 可決承認 —

小学校は現在の学校医を、奥多摩中については川辺先生を推薦することが提案・承認された

- (4) 平成 27 年度学校医（内科・耳鼻科・眼科）の選任について（依頼）

— 可決承認 —

標記依頼事項につき資料にある現在の学校医を推薦することが提案・承認された

- (5) 大気汚染障害者認定審査会委員の推薦について（依頼） — 可決承認 —

現在の委員（3名）である西村理先生・松原弘明先生については委員継続の承諾が得られており、残る1名については、新規の推薦者が必要であることから、土田直輝先生に意思確認をし承諾いただけたら以上の3名を推薦することが提案・承認された（土田先生については 28 日に承諾を確認）

- (6) 「西多摩地区医療懇話会」次第（案）について — 可決承認 —

情報提供については「地域包括ケアについて」と題し、玉木会長による情報提供等を行なう事とした。また、乾杯を鹿児島副会長とし、締めを江本副会長とすることとした。その他は原案通りとすることで承認された

【4】その他

- ・総務担当より 2 月 13 日に役員懇親会を開催することが提案され賛同を得た

会員通知

- 会報1-2月号
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 産業医研修会（3/14.15 日本大学医師会）
- 年末年始医師会館休館のお知らせ
- 第1回青梅市立総合病院地域医療連携懇話会ご案内（2/14）
- インフルエンザに関する情報第6報・第7報・第8報・第9報・第10報
- 学術講演会（1/23・1/26・1/29・2/17）
- 青梅心電図勉強会（1/21）
- RSウイルス感染症に関する情報 西多摩医師会第1報
- 西多摩地域糖尿病セミナー（3/8）
- 公立阿伎留医療センター医局講演会（1/26・2/23）
- うつ診療強化研修（2/28）・精神疾患（3/28）
早期発見・早期対応推進研修
- 認知症サポーター養成講座（2/21）
- ダライ・ラマ法王来日記念講演会の開催について
- 障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しについて
- 高額療養費制度における自己負担限度額の見直しの周知用ポスターについて
- 西多摩医師会ゴルフ部コンペのご案内（3/8）
- 酸素の購入価格の届出について
- 健康保健法施行令等の一部を改正する政令の施行について
- 「定期の予防接種等による副反応の報告等の取り扱いについて」の一部改正について
- 医療費助成制度変更に伴うお知らせ（通知）
- 平成26年度第2回医療情報の理解促進に関する研修会（2/13）

- 平成26年度母子保健講習会（2/22）
- 平成26年度保育園・幼稚園医講習会
- 難病医療費助成制度のご案内
- 平成26年度リハビリテーション講演会（2/7）
- 摂食嚥下機能支援事例検討会（2/5）
- 高齢者インフルエンザ予防接種請求について
- 西多摩パネルディスカッション2015（3/12）
- 西多摩医師会臨床報告会（2/26）
- 平成27年度診療報酬請求書提出日一覧表
- 平成26年度日本医師会「認定産業医」新規申請について（第6回/2月受付分）
- 「がん治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について（平成27年4月1日算定）
- 国民健康保険組合の保険証が更新されます（平成27年4月1日から）
- 「平成25年度人間ドック概要」送付について
- 園医のためのリファレンス
- 小児在宅医療サポートチーム勉強会開催（2/12）
- 東京都医師会医師賠償責任保険のご案内（診療所）
- 中東呼吸器症候群（MERS）疑いの患者が発生した場合の標準的対応フロー
- 平成26年度死体検案研修会（2/26）
- 公立福生病院市民公開講座「床ずれ予防」と「対策」について
- 協力難病指定医の申請について
- 再送 うつ診療充実強化研修

医師会の動き

平成27年2月20日現在

医療機関数	199	病院	30
		医院・診療所	169
会員数	538	正会員	210
		準会員	328

会議

- 1月9日 在宅難病調整委員会
- 13日 定例理事会
- 27日 第3回西多摩地域脳卒中医療連携検討会

1月27日 定例理事会
 2月7日 西多摩地区医療懇話会
 10日 定例理事会
 12日 在宅難病訪問診療（青梅）
 20日 広報部会
 24日 定例理事会

講演会・その他

1月6日 第5回 在宅医療講座
 1. 症例検討
 2. 緩和ケア
 3. 誤嚥性肺炎と経管栄養
 4. 歯科 口腔ケア
 8日 保険整備委員会
 17日 西多摩医師会新年賀詞交歓会
 22日 糖尿病教室
 22日 第30回西多摩学校保健連絡協議会
 23日 学術講演会
 ①演題：「一地域で認知症の人と家族に向き合う一かかりつけ医の役割と対応について」
 演者：（医社）幹人会 福生クリニック 院長 玉木 一弘 先生
 ②演題：「アルツハイマー型認知症の外科診療」
 演者：首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 教授 繁田 雅弘 先生
 26日 学術講演会
 演題：「よくわかるCOPD治療～生活習慣病対策として～」
 演者：公益財団法人 結核予防会 複十字病院 副院長 尾形 英雄 先生
 29日 学術講演会
 【一般演題】：「アミティーザ使用の実際～私はこう処方する～」
 演者：（医社）悦伝会 目白第二病院 外科・消化器科 副院長 水野 英彰 先生
 【特別講演】：「ガラパゴス化した日本の慢性便秘症治療」
 演者：横浜市立大学大学院医学研

究科 肝胆脾消化器病学教室
 主任教授 中島 淳 先生
 2月 9日 保険整備委員会
 17日 学術講演会
 【一般演題】：「NPPVからの離脱に高流量鼻カニュラ酸素療法が有用であったCOPD急性増悪の一例」
 演者：青梅市立総合病院 呼吸器内科 棚沢 理 先生
 【特別講演】：「喘息管理の現状と課題」
 演者：東京医科歯科大学 睡眠制御学講座（呼吸器内科）
 准教授 玉岡 明洋 先生
 19日 法律相談
 26日 糖尿病教室
 26日 西多摩医師会臨床報告会
 1. 「脊椎圧迫骨折に対する当院における治療戦略」
 公立福生病院 整形外科 加藤創太 先生 他
 2. 「CT colonographyによる大腸スクリーニングの有用性」
 青梅市立総合病院 消化器内科 野口 修 先生 他
 3. 「ミクリクツ病—IgG4関連疾患—の一例」
 公立阿伎留医療センター 内科・消化器科 山田 貴志 先生 他
 28日 うつ診療充実強化研修
 【内容】うつ病の特徴、患者さんの実態、身体疾患・自殺・アルコール等との関係・うつ病以外の精神疾患、うつ病を疑う症状、スクリーニングの方法、軽症から中等症のうつ病に対する標準的な治療法、地域におけるうつ病に関するかかりつけ医の役割、地域で利用可能な制度、社会資源、専門医療機関の紹介、診療報酬、症例検討等

役員出張

- 1月16日 地区医師会長連絡協議会
 21日 多摩ブロック医師会代議員会
 28日 新しい難病制度に関する担当理事連絡会
 30日 市町村・地区医師会在宅療養担当者会議
 31日 第27回「医療とITシンポジウム」
 2月16日 西多摩三師会役員会
 18日 都立青梅看護専門学校運営会議
 20日 地区医師会長連絡協議会
 20日 多摩ブロック正副会長会
 25日 生活保護法指定医療機関指導立会

【新規開業】

氏名 清水マリ子
 施設名 しみず小児科・内科クリニック
 所在地 福生市牛浜5-1
 出身校大学 杏林大学 平成8年3月卒

【入会会員】（準会員）

氏名 梅津 道夫
 勤務先 公立阿伎留医療センター
 出身校大学 鹿児島大学 昭和59年3月卒

氏名 森本 智
 勤務先 大河原森本医院
 出身校大学 東京慈恵会医科大学
 平成13年3月卒

氏名 森本 崇
 勤務先 大河原森本医院
 出身校大学 福岡大学 平成17年3月卒

氏名 古川 誠
 勤務先 公立阿伎留医療センター
 出身校大学 日本大学 平成11年3月卒

氏名 花崎 浩継
 勤務先 日本大学
 出身校大学 大学 平成23年3月卒

【退会会員】（準会員）

氏名 原 淳夫
 勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院

氏名 清水マリ子
 勤務先 公立福生病院

氏名 今永 兼良
 勤務先 公立福生病院

氏名 前田 暢彦
 勤務先 (医社) 仁成会 高木病院

あとがき

先日の日曜日で、平成26年度分の割り当ての休日診療当番が全部終了した。

休日にやっている耳鼻科ということで、毎回あきる野以外の地域からも多数の患者さんが受診される。今回も青梅、福生、羽村、八王子、昭島、さらには世田谷からの受診もあった。ちょうど1年前にも2月に休日診療当番が当たっていたのだが、あの大雪の後で車も出せず家からクリニックまで1時間かけて歩いて出勤し

た。こんな状態じゃ誰も来ないと雪かきをするつもりで出勤したのだが、ポツリポツリと患者さんが来て最終的には30人受診された。

全員歩で、さすがにあきる野以外からの患者さんは一人もいなかつたが。

今シーズンは、この原稿を書いている時点までは東京にはほとんど雪は降っていない。このまま降らずに春になってくれればいいが、もう1か月ぐらいは油断しない方がよさそうだ。

松本 学

表紙のことば



『逆さ富士』

正月、花の都公園でもダイヤモンド富士を狙ったが、頂上雲がかかって失敗。富士吉田市の農道公園での逆さ富士は幸運であった。

松原貞一

訃報

馬場 玲子 様 (享年83歳)

青梅市二俣尾4-954-1
二俣尾診療所

馬場 潤 先生(ご母堂様)

去る平成27年1月10日 ご逝去されました
尚、葬儀は故人の遺志により近親者のみにて済ました
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします

お知らせ

事務局より お知らせ

保険請求書類提出平成27年4月(3月診療分) **4月8日(水)** 正午迄平成27年5月(4月診療分) **5月7日(木)** 正午迄

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を

毎月第3木曜日午後2時より実施いたします。

お気軽にご相談ください。

◎相談日 **3月19日(木)**
4月16日(木)
5月21日(木)

◎場所 西多摩医師会館

◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
 刑事に関するどのようなものでも結構です。

◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)

◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。

(注)先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 西多摩医師会

平成27年3月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 古川 朋靖

土田 大介 鹿児島武志 奥村 充 神尾 重則 近藤 之暢

菊池 孝 進藤 幸雄 渡邊 哲哉 松崎 潤 松本 学

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993



一般医薬品
医療機器卸

酒井薬品株式会社

福生営業所 〒197-0013 東京都福生市武藏野台2-34-4

TEL (042) 553-3211 (代)

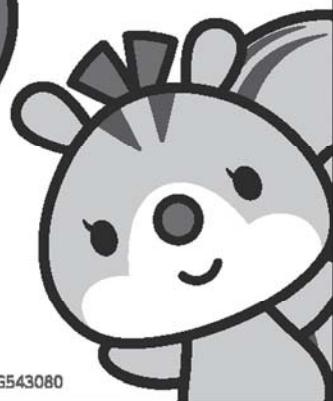
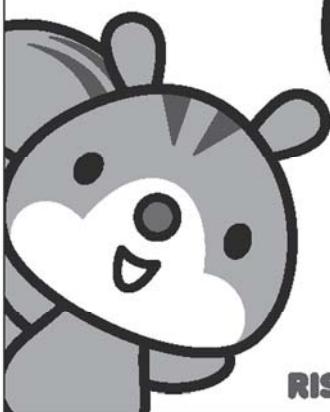
本 社 〒181-8551 東京都三鷹市野崎1-11-22

TEL (0422) 47-2131 (代)

営業所 小平・八王子・町田・川越・相模原・伊勢原

この街が好き 多摩が好き

こころでつなげる
こころがつながる



RISURU

©2003,2014 SANRIO CO.,LTD APPROVAL NO. G543080



多摩信用金庫

[SIMPLE] × [SPEEDY]



日々の診療を支える
電子カルテ、「クオリス」。



＜製品の特徴＞

- わかりやすい・操作しやすい画面レイアウト
- 診療アラーム機能搭載
- 使いやすい
- 外注検査のオンライン（指定検査会社）
- 安心のサポート体制、セキュリティ構成



株式会社**ビー・エム・エル**
インフォメーションセンター
TEL: 049-232-0111

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて…

(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する

F・Sサービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659